

◆2025年8月の新刊

日本キリスト教団出版局

平和を受け継ぐ者に

戦争証言・使命・祈り

おくだともし
奥田知志

編

1963年滋賀県生まれ。日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師、認定NPO法人抱樸理事長、公益財団法人共生地域創造財団、ホームレス支援全国ネットワーク、生活困窮者自立支援全国ネットワーク、全国居住支援法人協議会などの代表を務める。

世界各地で起きている戦争、紛争。もはや戦後でない今日を私たちは生きている。広島、長崎、沖縄、引き揚げ、本土空襲、宗教弾圧……。月刊誌『信徒の友』に掲載された戦争体験者のこれらの証言、平和への思いをどう読み、応え、歩み出すか。“戦後80年”の今、共に考えたい。

四六判・並製・144頁・定価1,650円（本体1,500円＋税）

ISBN978-4-8184-1206-4 C0036

目次

プロローグ

聖書が語るシャロームにどう聴くか……大島 力

1章 広島 原子野から立ち上がる

生かされた者の使命……長谷川 儀

過ちを繰り返さない……宗藤尚三（聞き手：月下星志）

封印してきた記憶……谷川順子

被爆教会の役割……向井希夫

2章 長崎 平和の鐘を鳴らし続ける

長崎被爆者座談会……光木倭子、松尾絹江、福島順子

核に思う……松本 正

平和の母子像にかけた思い……熊江雅子

3章 沖縄 キリスト者として生き抜く

他者の痛みと向き合えるように

……石原絹子（聞き手：西村愛里）

沖縄のキリスト教会は前進する……平良 修

首相官邸前でゴスペルを歌う会……平良愛香

祈りと犠牲を捧げる全国のシスター……上原洋子

4章 引き揚げ いのちの旅路

北朝鮮に取り残されて……笠井政子

ソ連軍侵攻の樺太から引き揚げ……高橋淳子

朝鮮の京城で生まれて……増田良夫

満洲から引き上げて……三田照子（聞き手：鈴木道也）

5章 国内 銃後の守りの陰で

誰もが懂れていた……岩崎誠哉

戦地を思って辛抱の日々……清水幸子

何の跡形もなく……小林義弘

信ずべきもの……村松武司

平和を祈るリタニー……東 歩

エピローグ

主イエスの非暴力主義……志村 真

